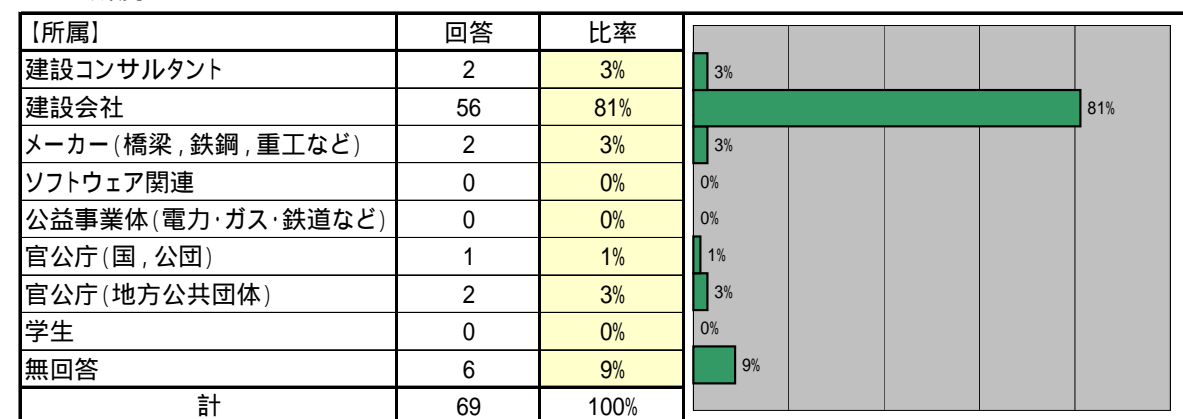


土木学会継続教育プログラム 平成 19 年度「安全で経済的な施工計画を行うための講習会」受講者アンケート調査結果

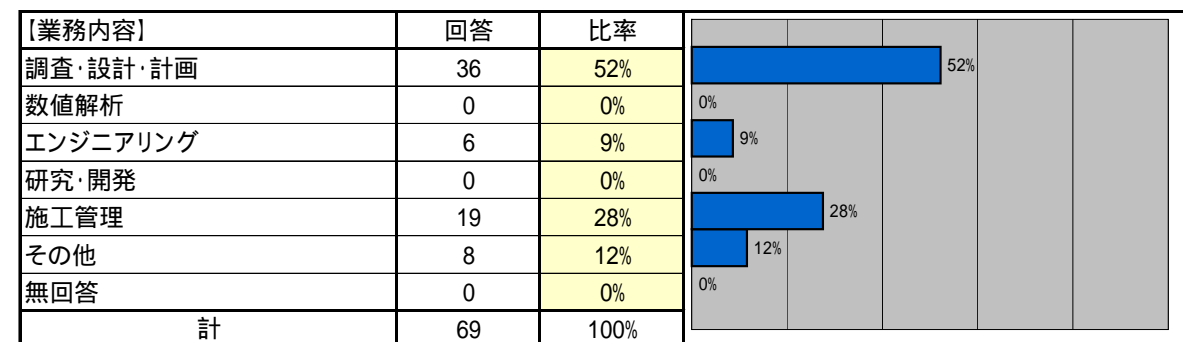
【講習会名】 安全で経済的な施工計画を行うための講習会
 施工計画と総合評価方式について 発注者の視点 -
 【開催日時】 2007年12月6日(木)
 【開催場所】 土木学会講堂
 【申込者数】 90名
 【アンケート回答数】 69 (回収率77%)

1, 受講者プロフィール

1.1 所属

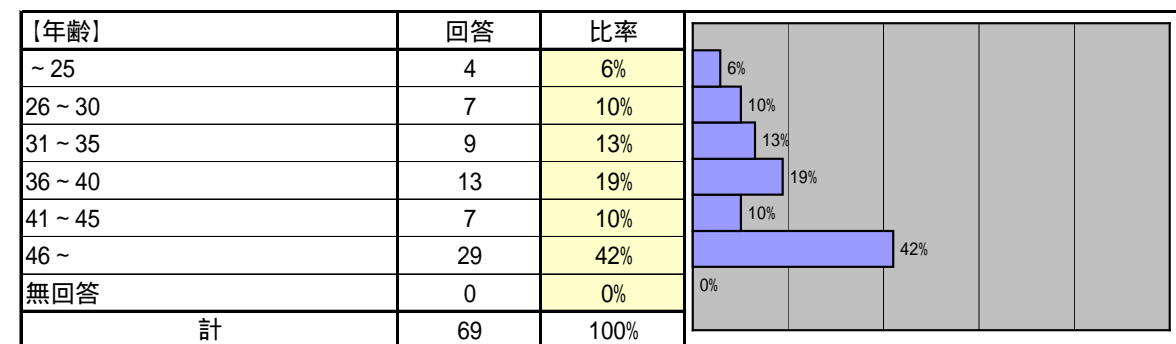


1.2 業務内容

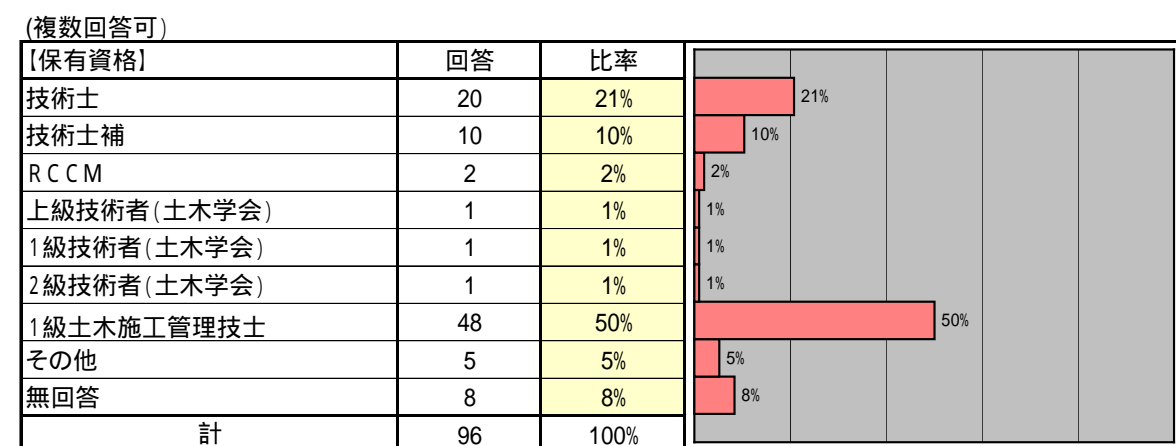


(その他の内容: 営業、積算)

1.3 年齢

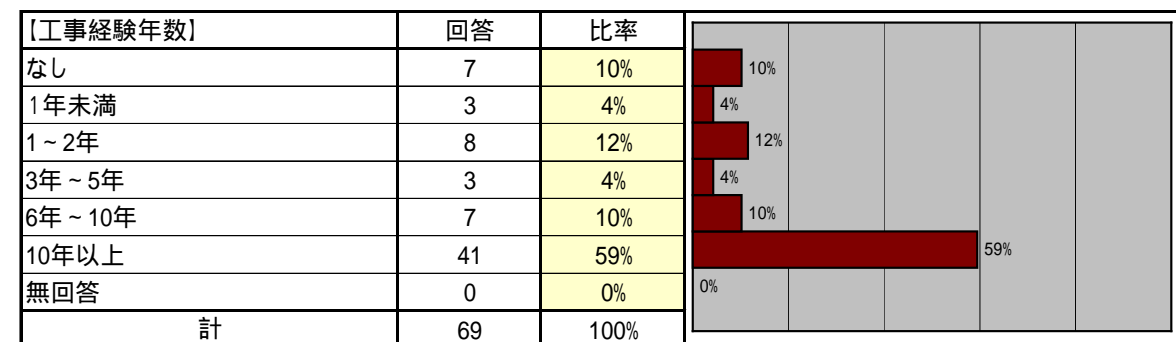


1.4 保有資格(複数回答可)

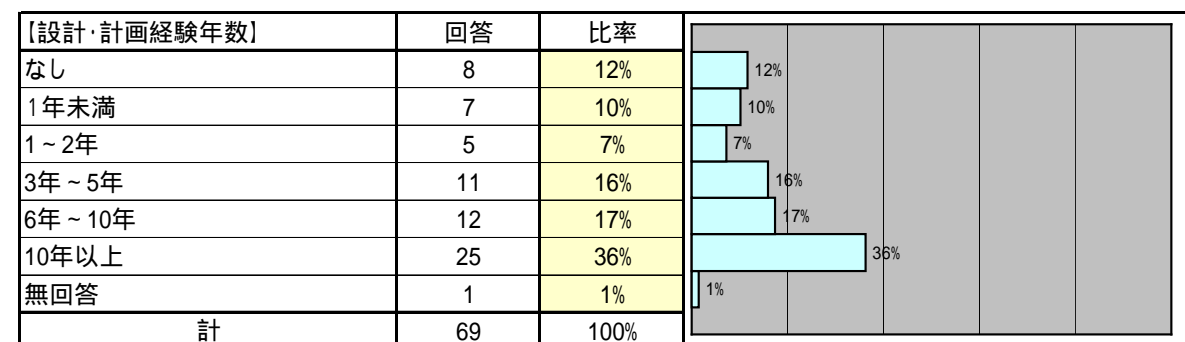


(その他の内容: コンクリート主任技師、コンクリート診断士)

1.5 工事経験年数

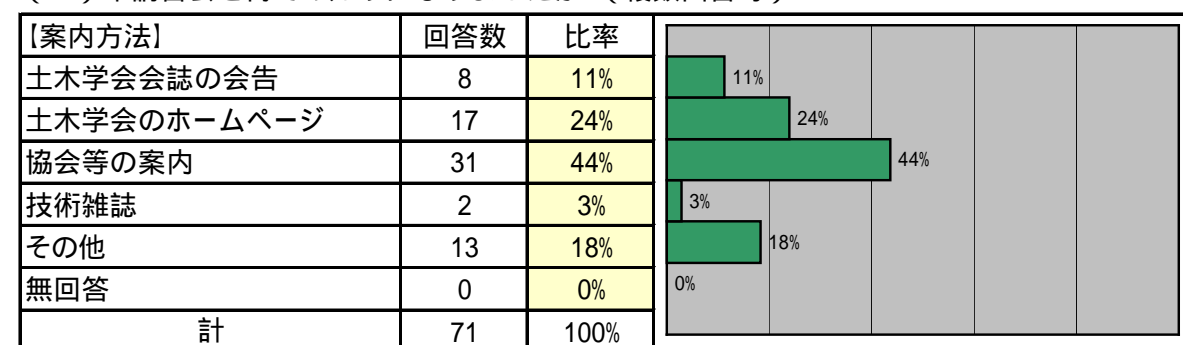


1.6 設計・計画経験年数



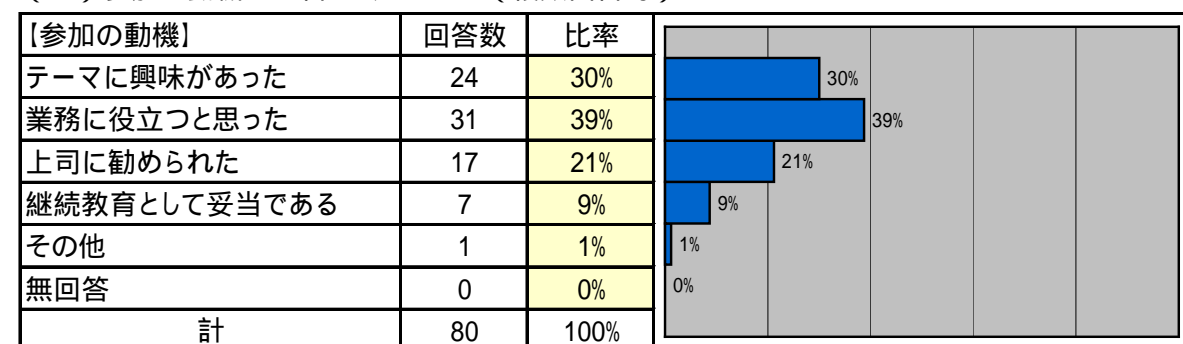
2. 講習会について

(1) 本講習会を何でお知りになりましたか。(複数回答可)

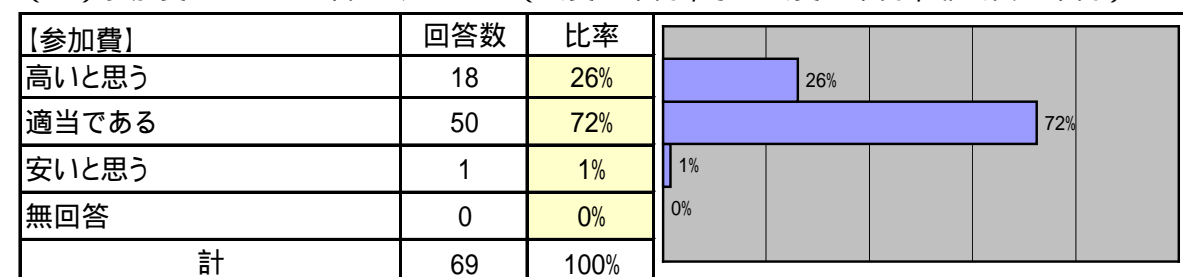


(その他の内容：社内の案内 = 8名、FEM講習会 = 2名)

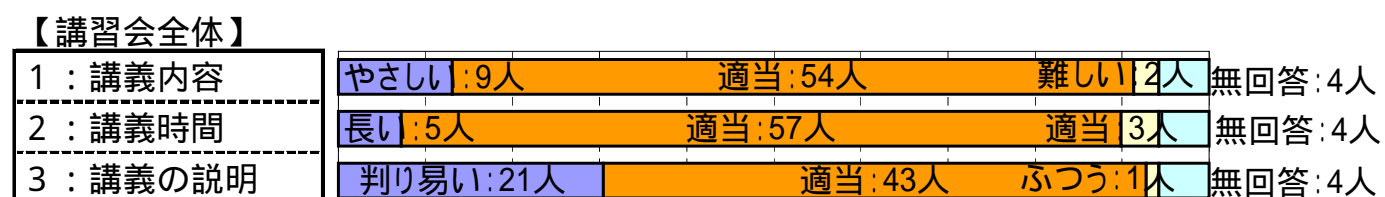
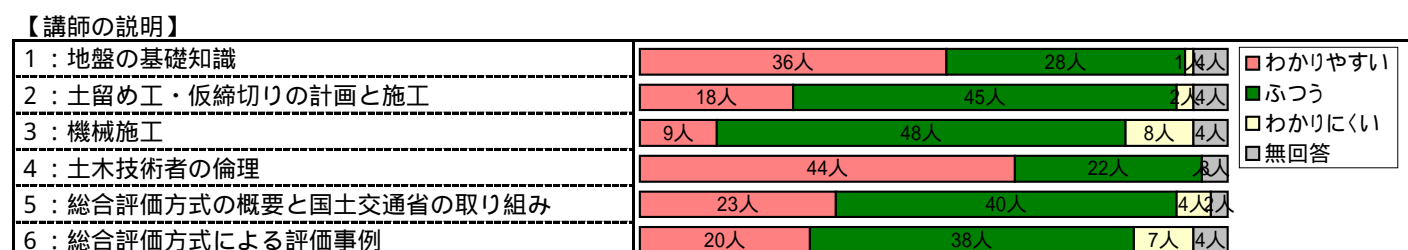
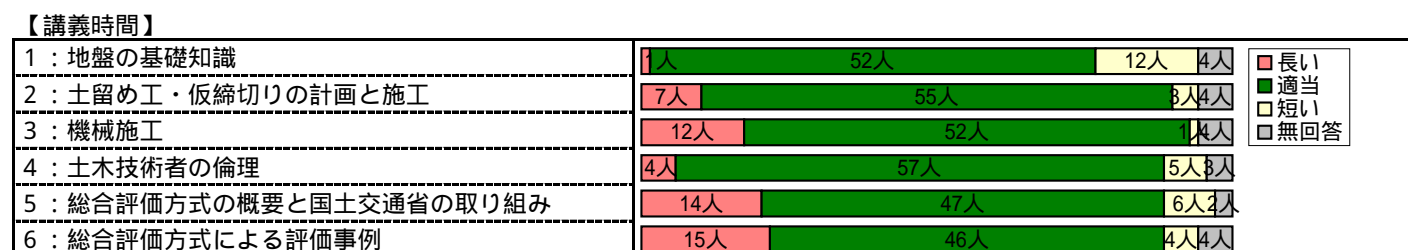
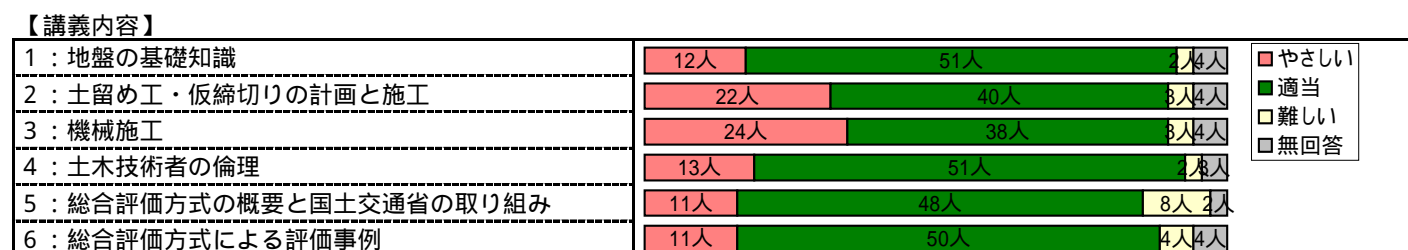
(2) 参加の動機をお答えください。(複数回答可)



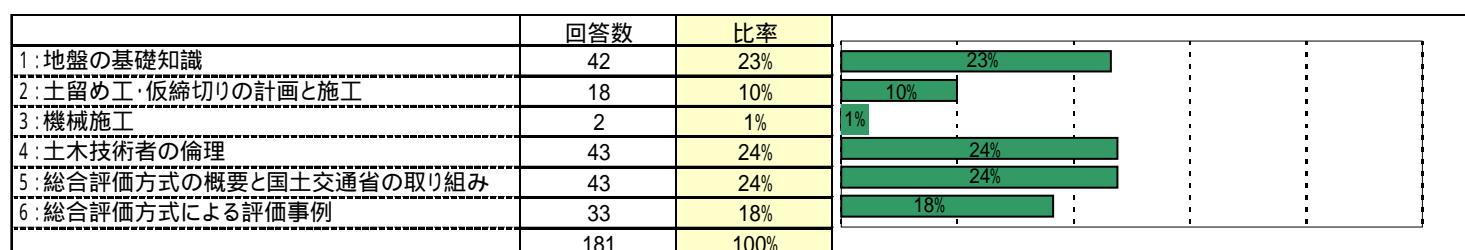
(3) 参加費についてお答えください。(会費6千円, 学生会費3千円, 非会員7千円)



(4) 講義内容の難易度と講義時間, 講師の説明の感想を, セッション毎にお答えください。



(5) 講義内容が特に良かった(啓発された, 実務に役立つ)セッションをお答えください。(複数回答可)



(6) 感想・意見などがありましたらご記入ください。

地方でももっとやって下さい。(メーカー、調査・設計・計画、26歳~30歳、1級土木施工管理技士)

コピーライトの問題かもしれないが、配布資料の内容とスライドの内容があまりに一致してないことが多かった。しかもスライドの字が小さすぎて読めないことも。5.6の話は特に若い者には未知で、それぞれ気になる話が多くて大変有意義でした。(メーカー、調査・設計・計画、26歳~30歳、記入なし)

総合評価方式について、簡易型、標準型の評価についてもっと知りたかった。(メーカー、施工管理、26歳~30歳、1級土木施工管理技士)

毎日、入札説明書を読んでいる身にはつらかった。(総合評価)もっと、発注者が技術提案の内容について、どのように評価するかを知りたかった。(メーカー、調査・設計・計画、36歳~40歳、技術士、1級技術者)

「6」(総合評価方式による評価事例を示す)ですが、内容はまあまあ良かったのですが、発注者の立場というよりも、発注者への信頼を少なくさせるような部分もあった感じがありました。(メーカー、エンジニアリング、36歳~40歳、技術士補、1級土木施工管理技士)

土留め工の講義では、出来れば設計事例や施工時の不具合事例なども聞いてみたかった。“総合評価方式の概要と国土交通省の取り組み”の内容は、この方式に関する知識があれば理解できたかもしれないが、民間工事を扱う技術者にとっては若干理解に苦しむ点があった。(建設会社、調査・設計・計画、36歳~40歳、技術士、1級土木施工管理技士)

1限目の講習は、実務に役立つと実感しましたが、2、3時限目の講習は一般的な実務にあまり役立つという感じがしませんでした。もう少し、一般的な実務に役立つ講習をお願いしたい。(建設コンサルタント、調査・設計・計画、36歳~40歳、RCCM)

社会の取り巻く環境が、技術者に倫理観を求めています。つまり、倫理観をあえて教育しないと、いけない世の中になっていることかもしれません。とするならば、この国の問題は根が深いような気がします。(建設会社、施工管理、41歳~45歳、1級土木施工管理技士)

講習会のタイトルと講習の内容がマッチしていないと感じました。(建設会社、エンジニアリング、41歳~45歳、技術士、技術士補、1級土木施工管理技士)

総合評価方式について(建設会社、その他(積算)、41歳~45歳、技術士、上級技術者)

- ・ 技術対話は大きな前進と思う。(コミュニケーションによる発注者ニーズの把握など)
- ・ 入札者側からの発注者への働きかけ(ヒアリングなど)は不可能なのか?発注者の真のニーズをつかむことが最も難しい。
- ・ 発注者側では必ず「透明性確保」が前提になるが、その手段、方法に関して工夫が必要と思う。ノウハウが流出しないように、、、etc

5、6について、もっとつっこんだ講義を期待したのに、、、、、、4については評価したくありません。(建設会社、エンジニアリング、46歳以上、技術士、1級土木施工管理技士)

本日の講義内容を会社にて技術者に勉強会を実施したいと思います。できれば、講義で使用されたパワーポイントのデータがあれば勉強会でも説明しやすいと思いますので、土木学会のホームページでデータの提供をお願いしたい。(その他(建設・資材リース会社)、調査・設計・計画、46歳以上、1級土木施工管理技士)

土木技術者倫理について、講義内容の要点を記したレジメが是非欲しい(パワーポイントの配布用印刷物など)(建設会社、施工管理、46歳以上、技術士補、1級土木施工管理技士)

継続的にCPD講習会を企画してほしい。(建設コンサルタント、その他(業務管理)、46歳以上、技術士、1級土木施工管理技士)

県職員として発注者側の困難について、有田さんは良く理解してもらっていると思いました。出来れば、もっと話をしてみたいです。(官公庁、調査・設計・計画、46歳以上、その他(技術士1次合格者)

6の事例は23件しかない高度型ではなく、1700件ある標準型で説明してほしかった。(建設会社、その他、46歳以上、1級土木施工管理技士)

現場における事例を中心に失敗例、成功例等の講習会がありましたら参考になると思います。(建設会社、施工管理、46歳以上、1級土木施工管理技士)

60分×6は、聞く方も中々大変、テーマによって軽重、リズムも必要かと。技術提案にからんだ1、2、3なら価値があった。4のイントロ部は大変参考になりました。3、4はもっと実際施工に係る、良い悪い事例の紹介をしてほしかった。6で資料にない、説明スライドに重要なもの多く、書き写しできないで残念。後は、HPを拝見します。(建設会社、エンジニアリング、46歳以上、その他)

発注者の意見(考え方)が聞けて良かったと思う。(建設会社、施工管理、46歳以上、技術士、1級土木施工管理技士)